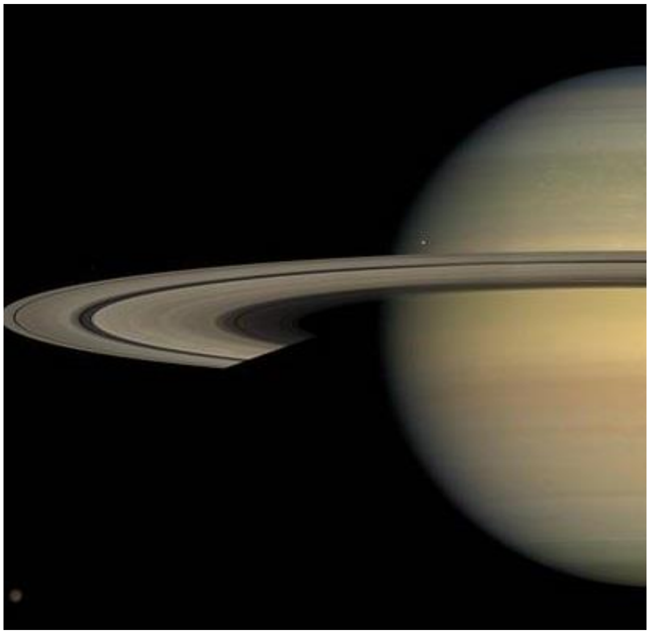


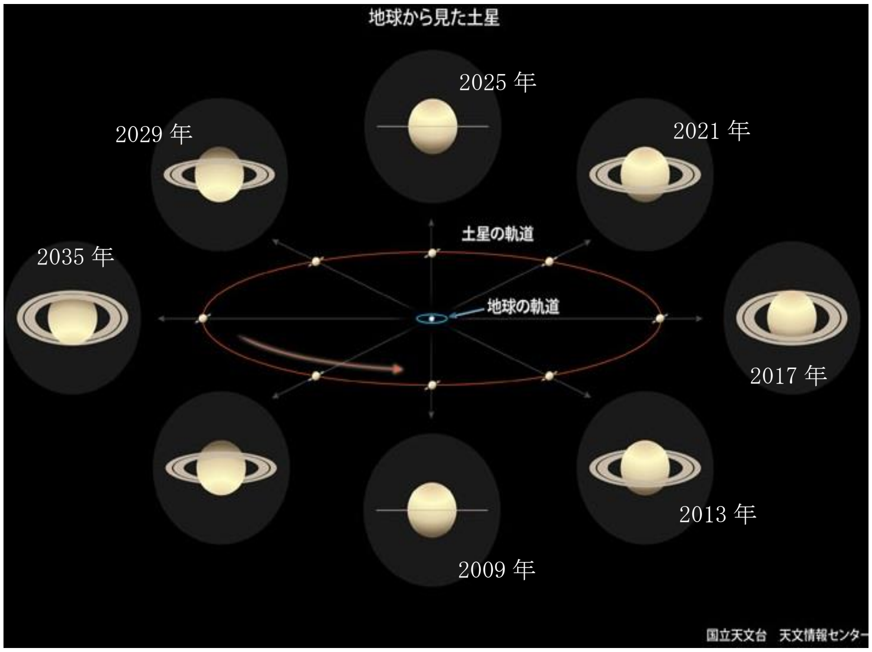
画像：NASA 探査機カッシーニが撮影した土星

2016年6月

大（おお）きくひらいた土星（どせい）の環（わ）をみよう

発行：福岡県青少年科学館

土星は６月３日に衝（太陽、地球、土星の順に一直線の位置）となり、一晩中観察できる絶好の時期となります。土星の環はひらき方が見る年によってちがいます。環がもっともひらいて見えるのは、来年、2017年ですが、今年も十分にひらいた状態で観察ができます。土星の環は2025年に見えなくなります。この機会にぜひご覧ください。市民天体観望会でも、土星を観望します。ご参加お待ちします。



画像:6/19 21:00 久留米市 南南東の空 ステラナビゲータ ver.9 で作成

土星と月の接近をみてみよう

６月１９日午後９時頃には、土星と月が並ぶ様子が観察できます。満月に近い月（月齢14）のそばで土星（0.1 等級）が負けじと輝いています。近くには火星（-1.7 等級）が真っ赤に輝いていますので、とてもにぎやかな夜空となっています。